

<p>浜田市学校図書館活用教育研究指定校</p> <p>公開授業 研究協議</p>	<p>英語科</p> <p>平成 29年2月8日（水）多目的教室</p>
<p>研究の視点</p> <p>①身近な地域や観光地のさまざまな英語のパンフレットを紹介し、内容や表現について取り上げて考えたことは、生徒の意欲的な取組につながったか。</p> <p>②ペアやグループ活動のあり方は、生徒の学び合いに効果的であったか。</p>	

●①について

- 身近な地域のものを使って前時から本時の流れがあり、生徒たちも興味をもって取り組んだのではないか。
- パンフレットの情報量が多い。
- 本時で使ったパンフレットはカラーでコピーした方がよかったのではないか。
- マップの方だけを使うなど、コンパクトに絞った使い方をしてよかった。
- 浜田市はまた新しくいろいろなパンフレットを出しているのだから吟味して使うとよい。
- 資料のどう与えてどこに注目させるかが大切。

●②について

- 本時の授業はグループ・ペアのどちらで活動するか、その構成の仕方で迷ったが、いつも通りの座席を基に組んだ。
- グループのあり方は教科や活動の内容によっていろいろと考えられる。どんなグループでどのような課題に取り組ませるかということを考えて指導したい。

●③その他について

- 2年生の時の自分の作文を練り直す、という活動だったが、お互いのものを推敲するという方法もあったのではないか。
- 2つのパンフレットを提示したが、「読みトレ」風アレンジしたものが難しく感じて、その後の活動で生徒が構えてしまっていたのではないか。
- 1～2年で学習してきた表現を使えばできる、ということがあまり生徒に伝わっていなかったようだ。
- 授業の最後に紹介した新聞記事は、今回の活動の一番最初に出してもよかった。

## ●指導助言●

- 図書館は教科担任の弱点を支える場所でもある。また、例えば「時差」の学習をするにしても理科、数学、社会など様々な教科を横につなぎながら情報を提供することもできる。

- 英語は具体的に今学習していることが将来のどこにつながるかを示しやすい教科である。パンフレットからは浜田市は多くの人に来てほしいというニーズがある、ということがわかる。なぜやっているのか、どういう意味があるのか、こども達が意識できるとよい。

- 英語で人に伝えたいことがあるかどうか。弥栄（浜田，日本）のことなど自分たちのことをしっかり知っておきたい。

- 図書館に行くときの授業で何をしているかが目に入る環境ができていることが理想である。

- 今後、小学校では英語が教科化され、ある程度コミュニケーションが取れる状態で中学校に入学してくることになる。大きく変わりつつある英語教育の流れを把握し対応すること。